

## <薬学的 症例・DI 検討会 in 酒田 プログラム>

■ 日時：平成 29 年 10 月 15 日（日） 9:00 ～ 14:00

※8:30 までにお越しください。

■ 場所：酒田市民健康センター 3 階 大会議室

■ 参加者：地区薬の 6 薬局で構成し、1 薬局から 1 名で合計 6 名

■ 参加費：弁当代 1,000 円

■ ファシリテーター：東京大学大学院薬学系研究科・育薬学講座 澤田康文先生  
県薬・地区薬 生涯学習・研修委員

■ スケジュール：

9:00-9:05・・・開会の辞

---

### （第一部）まなぼう編

9:05-10:00・・・東京大学薬学部教授 澤田康文先生

薬局プレアボイドとは？ 詳細解析事例（CASE-DI）はどう作る？

### （第二部）つくろう編

10:00-13:00・・・全員 ファシリテーターと共に詳細解析事例（CASE-DI）の作成

各参加者は「2 事例」の薬局プレアボイドの事前提出素材を発表。

\*事前提出

- ・事例に関係した部分で、個人情報・施設情報などを黒く塗りつぶした「処方せん、薬歴、薬情、薬袋、その他の情報」のコピーなど。
- ・事例に関係ある「医薬品、薬局内調度品、機器など」の写真（デジカメなどで撮ってください）など。
- ・医師などへの疑義照会・問い合わせに活用した自作の情報（例えば、腎機能障害患者に注意を払う必要のある薬剤の一覧表・・・）などのコピー。
- ・疑義照会・問い合わせの根拠となった医薬品情報（文献、総説など）のコピーなど。  
.....この間 12:00-12:50 頃に適宜昼食・休憩.....

（弁当代 1,000 円を当日、徴収致します。）

### （第三部）かたろう編

13:00-13:55・・・全員 全員で総合討論（各参加者 1 名で 10 分間）

詳細解析事例（CASE-DI）の検討結果をパワポ入力し発表

---

13:55-14:00・・・閉会の辞

## 用語の定義

- 1) **医薬品情報リテラシー**：医薬品情報を効果的かつ効率的に入手し、解析・評価して、確実に自ら使用すると共に医療関係者や医療消費者に提供することができる能力
- 2) **薬局プレアボイド**：薬剤師が患者基本情報を的確に収集し、適正な処方チェックと薬学的患者ケアを実践して有害反応・治療効果不十分、精神的不安、経済的損失などを回避あるいは軽減した事例
- 3) **詳細解析事例**：患者基本情報、処方せん・薬歴内容の時系列データをもとに、① 何が起こったか？（問題点の抽出<要旨>）、② どのような経緯で起こったか？（問題点の抽出<詳細>）、③ どうなったか？（顛末）、④ なぜおこったか？ 何が問題か？（背後要因の探索）、⑤ 今後二度とおこさないためにどうするか？ 再チェックのポイントは？（対応案の列挙）、更に事例に関連した薬学的周辺知識をまとめた ⑥ 特記事項は？」に分類して詳細に解析された事例